

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

# ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

## アクモスブランド創出への挑戦

日本の社会インフラをITで支える

特集

### 事業紹介

システム運用・保守

常駐SEによるオンサイト運用により、  
お客様の業務遂行を24時間365日体制  
でバックアップ

### キーパーソン対談

事業本部と営業本部のキーパーソンが  
語るアクモスの今とこれから

### アクモスジャンクション

#### 株式会社エクスカル

次世代USB規格 USB3.0のデバッグ  
テストサービスを開始

#### 人を育てる

ACMOSソーシングサービス株式会社  
「社員一人ひとりの力量アップを目指す」

アクモス株式会社  
「人財力の強化」

アクモス 株式会社

証券コード：6888

2011  
Vol.08

# アクモスブランド創出への挑戦

## 日本の社会インフラをITで支える

代表取締役社長 飯島 秀幸



### 株主のみなさまへ

平素より、格別のご高配を賜りありがとうございます。また、本年3月11日に発生した東日本大震災により被災されたみなさま、住み慣れた故郷や自宅を離れ避難生活をされているみなさまに対しまして、お見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

#### ■ 第20期の事業全般についてお聞かせください。

第20期は、「守りから攻めへ」「営業力と技術力」をキーワードに取り組みました。子会社の事業再構築や本社事務所の移転等、守りを軸にした施策に加え、攻めへ転ずるため、アクモス株式会社に営業担当の執行役員を選任して営業本部の機能を拡充し、アライアンスを進めました。公共系の大規模プロジェクト等の新たな事業分野の開拓に努めた結果、企画提案型アプローチでの入札により、平成22年度の茨城県ひとり親家庭等在宅就労支援事業\*を受託しました。

※詳細については10ページの20期トピックスをご参照ください。

#### ■ グループ事業再編後の初めての決算となった第20期の業績についてご説明ください。

### 営業、経常で黒字化、当期純利益計上で3年ぶりの配当実施へ

第20期の売上高は、ほぼ年初の計画通りの3,320百万円となり、子会社の減少や震災によるマイナスの影響を、堅調だったITソリューション事業でカバーした形になりました。

また、「連結でも黒字、各社も黒字」という目標を掲げて経営基盤の強化に努めてまいりました。子会社1社は営業利益黒字化まであと1歩及びみせんでしたが、連結で営業利益は121百万円、経常利益は125百万円、期中の事務所移転や東日本大震災による災害損失等、特別損失を70百万円計上したことにより、当期純利益は42百万円となりました。

当期の業績を勘案し、株主のみなさまの長年のご支援に感謝の意を込めた創立20周年記念配当(100円)を加えた1株当たり300円の期末配当を3年ぶりに実施いたします。

#### ■ 東日本大震災の影響はありましたか？

### 茨城地区の事業拠点2か所が被災、復旧工事は順調

自社所有の茨城本部(茨城県那珂郡東海村)では、建物の一部の破損、給排水設備の損傷、駐車場の陥没等の被害が発生しましたが、順次復旧工事を実施し2011年9月末には完了する予定です。つくば事業所は、業務上の安全性と災害発生時の業務継続性を確保する目的で、2011年6月末

に新事務所へ移転いたしました。建物等物的損害と休業中の人件費等を合わせ、今回の東日本大震災による災害損失は28百万円となりました。

震災後は、困難な環境のなかで、データセンター、ビル施設管理会社等の情報システムの運用に携わる多くの社員がお客様と協調して業務を遂行してくれました。このことは、お客様企業から高い評価を受けております。

また、震災の被害が大きかった東北の復興への長い道のりを思い、何か持続的に支援できないかを検討した結果、初めての東北エリアでの採用活動に取り組んでおります。

#### ■ 節電対策としてどのような取り組みをされていますか？

オフィスにおいて、蛍光灯の一部消灯、空調の温度設定を冷房時28度に設定する取り組みを行っております。自社所有の茨城本部の事務所では、これらに加えて4階建の建物の4階フロアを閉鎖し3階以下に集約いたしました。茨城本部は、太陽光発電を従来から利用し、電力消費量のモニターシステムも活用しております。前年比で15%減を電力消費量の上限に設定し、ピーク時にはアラームが鳴るよう設定し管理しております。

#### ■ 第21期の業績予想は堅実な数値となりましたが、どのような事業計画を予定されていますか？

### 売上高34億円、営業利益1億円の予想

全般的には堅調と考えており、売上高は微増の3,400百万円を見込んでおります。営業費用は、研究開発費や災害対策費の増加を見込むと同時に間接費の低減活動を継続し、効率的な運用を図ります。

以上の結果、営業利益は100百万円を見込み、当期果たせなかった全グループ会社の営業利益黒字化を目標にしてまいります。

#### ■ 第21期は、3ヵ年計画達成の試金石

中期経営計画2年目の第21期は、3年間に亘る計画達成の試金石になります。新規の顧客開拓では、クラウド型のソリューションやパッケージソフト等を提供されている他のIT企業ともアライアンスを深め、中堅企業のお客様等から直接

の受注を目指す自主受注体制を確立します。既存の大手企業や官公庁のお客様からの受注と同様、営業活動の柱に育てていきたいと考えています。

攻めのポイントとなるのは、アクモスブランド創出につながる研究開発プロジェクトの推進です。現在、社会インフラや住民サービスに関連した通信系システムの開発を計画しており、販売・技術・保守の分野で他の企業様とのアライアンスを促進し、期中のサービス開始を目指してまいります。

東日本大震災での経験により、社会インフラや行政サービスを支えるITソリューション、ITサービスを提供する企業として、果たすべき役割の重要性を再認識いたしました。どんな時でも、社員にとって安心・安全に仕事ができる体制を構築し、お客様にも安心して当社グループを活用して頂けるよう努めてまいります。

#### ■ 今後の利益配分方針をお聞かせください。

従来、連結当期純利益に対する配当性向30%を目標としておりましたが、連結ではのれん償却等の影響もありますので、単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に、連結業績及び内部留保の必要性を総合的に勘案して決定する方針に変更いたしました。

第21期は、期末配当1株当たり200円を予定しております。今後とも収益力向上に努め、株主のみなさまに継続的な配当を実施したいと考えておりますので、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■ 経営目標(定量目標)

(単位:百万円)

	第20期 2011年6月期	第21期 2012年6月期(予想)	第22期 2013年6月期(計画)
売上高	3,320	3,400	5,000
営業利益	121	100	250
経常利益	125	100	200
当期純利益	42	80	160

※2013年6月期の計画には、ITソリューション事業会社の新規M&Aの寄与が含まれております。

※2012年6月期の数値は、2011年8月2日発表の決算短信に、2013年6月期の数値は、2010年8月3日発表の中期経営計画に基づいております。

発表日時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

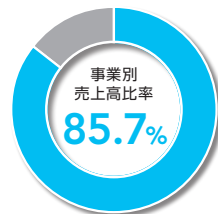


# セグメント情報

アクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。

## ITソリューション事業

事業別売上高 29億2百万円



アクモス株式会社は製造・公共、ACMOSソーシングサービス株式会社は医療・製造のフィールドにおいて、お客様の様々なニーズに対し、最適なITソリューションを提供しております。

### 20期の状況

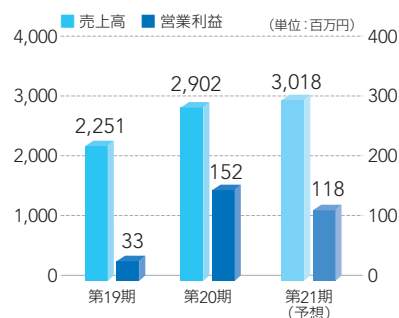
ネットワークソリューションが官公庁のシステム更新等入札案件の獲得などにより堅調に伸長、制御系システム開発は企業のIT投資の回復の遅れと震災の影響により売上が減少したものの、大手IT企業の次世代Android-OS関連開発プロジェクト拡大や、前期中にグループに加わったACMOSソーシングサービス株式会社の業績貢献になどにより、売上高は前年比で28.9%増となりました。また、公共系の大規模プロジェクトを受託するなど、新たな事業分野も開拓いたしました。

収益力の向上のため、事業内での営業協力や人材活用を主とする業務協力体制構築を進めております。

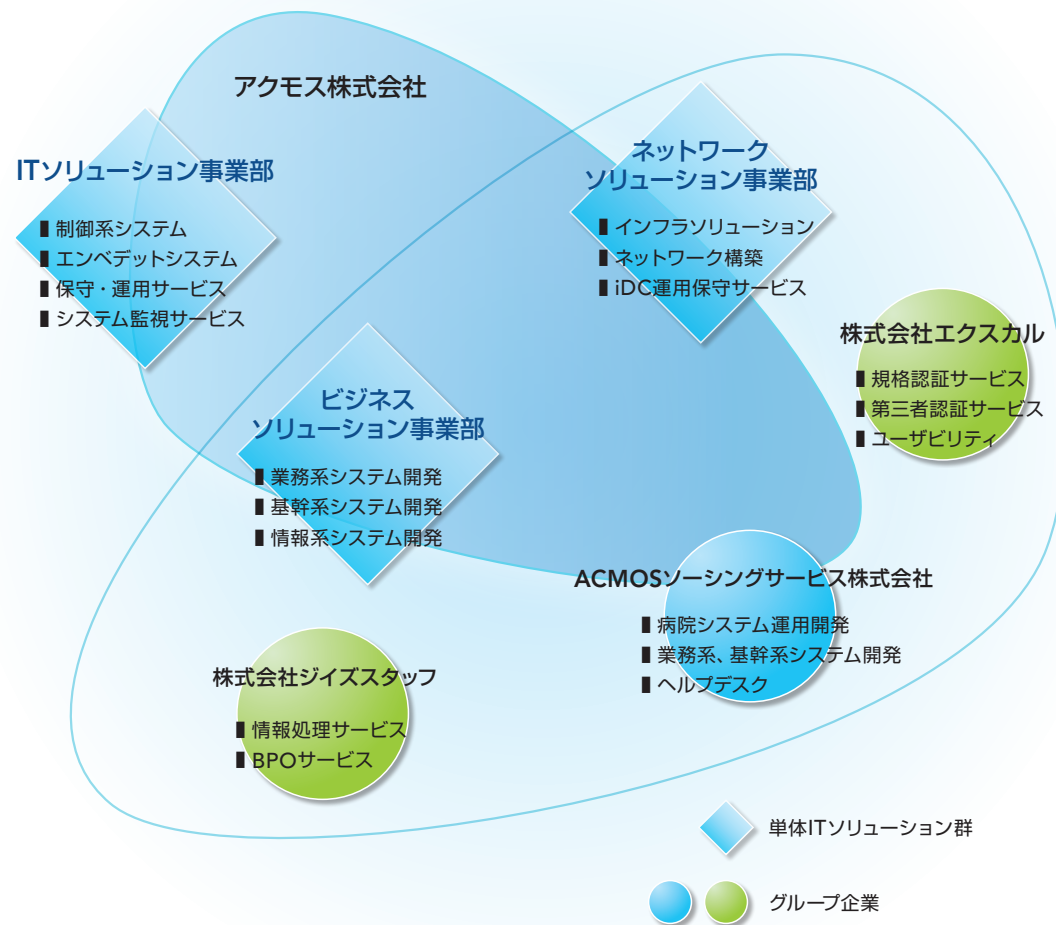
### 今後の方針

震災の影響を受け、電力系の制御システム開発は受注回復が遅れる可能性があります。その他の分野では需要増を見込んでおります。今後は電力・交通・通信・医療等の社会インフラや、行政サービスを支えるシステムに関する経験と実績を生かし、これらの産業や行政に関わるお客様の事業を支え、安心・安全なサービスを提供するため努めてまいります。

### 業績推移



## アクモスグループ 事業体制



アクモスは、グループ各社のITソリューション、ITサービスを組み合わせて、お客様の多様なニーズにワンストップでご対応いたします。



## ITサービス事業

事業別売上高 4億84百万円

株式会社ジズスタッフは情報処理・BPOサービス、株式会社エクスカルはIT製品のテストのフィールドにおいて、お客様の様々なニーズに対し、最適なITサービスを提供しております。

### 20期の状況

情報処理サービスは、製薬会社の案件や大学の授業評価アンケート、模擬・検定試験業務等、比較的安定した業務を新規で受注いたしました。

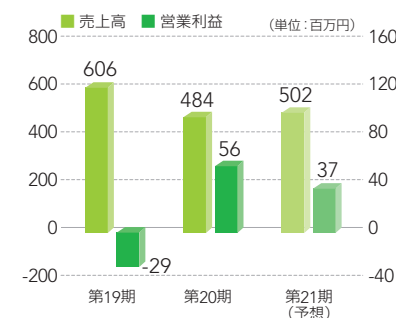
IT製品のテストは、事業再構築を実施して固定費を削減し収益性改善を図りました。地上デジタル放送の開始に向けたデジタル家電製品の増加から、DLNA\*に関する規格認証サービスの売上が増加、またカーナビゲーションシステムとヨーロッパの携帯電話とのシステム連携に関する検証サービスを実施いたしました。

以上の結果、前期1社を連結除外した影響もあり、前年比で売上高は20.1%減少したものの、営業利益は86百万円の増加となりました。

\*DLNA: 家庭内LAN (ホームネットワーク) を用いてAV機器やパソコン、情報家電を相互に接続し、連携して利用するための技術。

### 今後の方針

### 業績推移



情報処理サービスは、既存顧客のリピート注文を促進、また商品パッケージ開発や業務品質確保による価格競争に負けない体制づくりと今後の組織拡大を目指してまいります。

IT製品のテストは、将来の収益源となる規格認証分野における認証機関としての体制整備、営業基盤強化に向けた他企業とのアライアンス、顧客開拓拡大のためのグループ企業と協調した営業展開を進めてまいります。

## 事業紹介

システム運用・保守

### 常駐SEによるオンサイト運用により、お客様の業務遂行を24時間365日体制でバックアップ

#### ■ ビル設備管理会社の運用管理

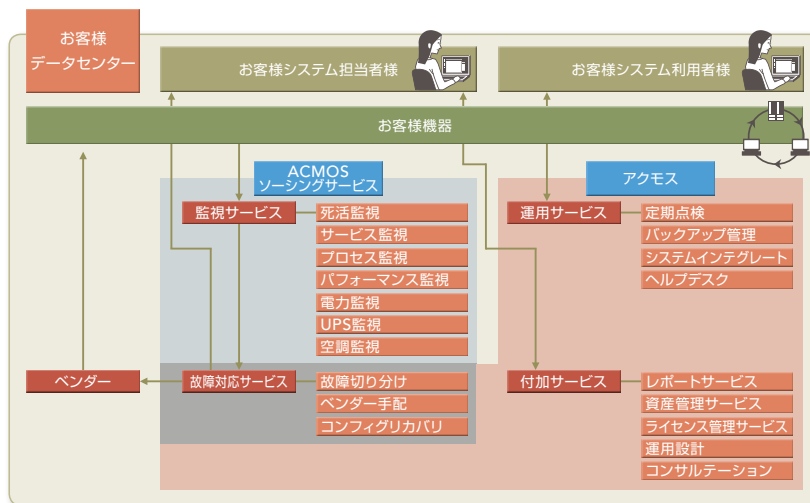
こちらのお客様のデータセンターでは、アクモスとACMOSソーシングサービスが協力してSE業務とオペレータ業務を行っています。グループ会社同士で協調して業務に取り組んでいけるのが強みです。

震災時には、データセンターが損傷するなどの深刻な事態に直面しましたが、交通機関の乱れや余震が続くなかで、お客様とともにアクモスグループ一丸となって復旧作業を行い、無事に事態を収束させることができました。

運用管理はシステムが安定して動いて当たり前、非常事態の時こそ真価が問われます。そのために日頃からチームワークを育て、技術力を磨き、お客様に安定したサービスを提供できるよう努めています。



同じチームで働く両社の担当者



#### ■ 大規模データセンターの運用管理

**概要** 基幹システムを含む大規模なデータセンターの運用管理業務を遂行しています。

数々のニーズに応えるためにフレキシブルに対応いたします

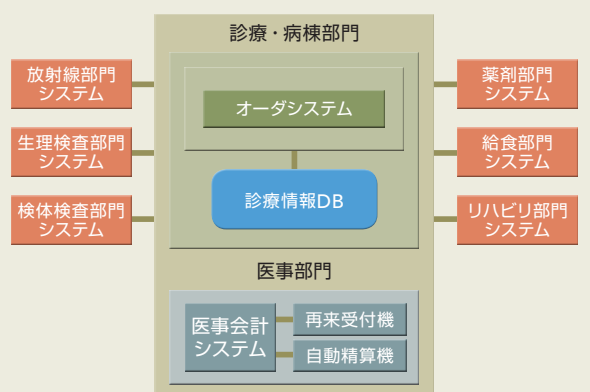
運用マニュアル(運用業務フロー・作業手順)に忠実に従った通常の業務運用支援

- 運用管理 (計画立案/実施)
- 性能管理
- 障害管理
- 構成管理
- 設備管理
- 作業報告
- 改善提案

システムトータルの維持・保守を目指した拡張サービス

#### ■ 病院情報システムの運用管理

**概要** 首都圏で複数の病院総合情報システムの運用管理を担当し、システムの維持作業・常時監視・診療現場での操作指導等、システムの安定稼働のために邁進しています。



## キーパーソン対談

Key Persons

アクモス株式会社

取締役 専務執行役員  
事業本部長

佐藤 修一

執行役員 営業部長

米川 渡



### 事業本部と営業本部のキーパーソンが語る アクモスの今とこれから

#### ■ 第20期 震災をこえて

**米川**：震災後は休業を余儀なくされるなど影響が心配されましたが、第20期はネットワーク整備事業、大手企業の基幹業務のシステム開発、スマートフォン関連のシステム開発などが堅調に進み、受注・売上目標を達成することができました。

**佐藤**：今はライフラインの復旧が優先されますので、IT投資の復活はその後になります。電力系システム開発にとっては厳しい環境が続いていますね。

**米川**：復興需要に関わる業種など明るい兆しが出てきているお客様もおりますが、見通しは厳しいとみています。

**佐藤**：しかしながら、震災がきっかけとなり、お客様とは今まで以上の信頼関係を築くことができたと感じています。茨城地区では社員も被災し、震災直後は全ての物資が不足していました。そんな中で、24時間365日対応で業務にあたるデータセンターの運用管理チームが、お客様と一緒に緊急復旧作業を行い、平常稼働を迅速に実現したとして、お客様から感謝の言葉を頂きました。

#### ■ 攻めの営業

**佐藤**：第21期の重要なテーマの一つとして「営業の対象領域の拡大」があります。

**米川**：お客様ニーズをつかむために、積極的な営業を開拓していきたいですね。既存のお客様へは積極的な企画提案によるサービス領域の拡大を、新たなエンドユーザーからの受注獲得に向



米川執行役員

けてはお客様の多様な要望に応えられるようグループ間連携を強化していかねばと感じています。

#### ■ アクモスブランドの創出

**米川**：中期経営計画のテーマであるアクモスブランドの創出についてはどうですか？

**佐藤**：注目している分野は、私たちが安心・安全に暮らせる社会に貢献できるIT分野です。震災時に通信の問題がクローズアップされましたので、当社としては新たにCTI(※)等を活用したITソリューションを実現したいと考えています。

#### ■ 第21期にむけて

**米川**：アクモスグループ一丸となり、お客様の期待値を超えるサービスの提供に努めてまいります。新規開拓には厳しい環境ですが、攻めの営業によって第21期も目標達成を目指していきます。

**佐藤**：第20回株主総会をもって取締役役に就任いたします。この困難な時期に大役を仰せつかったことは誠に光栄



佐藤取締役

であり、また責任の重さに身の引き締まる思いです。日本経済は現在、大震災・円高・未曾有の構造的な不景気に取り込まれている状況にあります。「神様は越えられない試練は与えない」との信念を持ち、企業価値を高め、継続的配当を実現するため、今後も全力で取り組んでまいりますので、引き続き温かいご支援をお願いいたします。

※CTI:(Computer Telephony Integration System: 電話とコンピュータの統合システム) 電話がアナログからデジタルに変わったことでコンピュータとの親和性が増し、現在は様々な分野で電話とコンピュータが連動したCTIシステムが使われるようになってきました。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第19期 2010年6月30日現在	第20期 2011年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,621,001	1,758,715
固定資産	680,392	592,974
有形固定資産	232,009	223,594
無形固定資産	336,554	286,181
投資その他の資産	111,829	83,198
資産合計	2,301,393	2,351,690
負債の部		
流動負債	487,409	548,151
固定負債	242,840	187,617
負債合計	730,249	735,768
純資産の部		
株主資本	1,476,929	1,520,228
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△ 338,691	△ 295,392
自己株式	△ 53,911	△ 53,911
その他の包括利益累計額	220	2,449
少数株主持分	93,994	93,244
純資産合計	1,571,144	1,615,921
負債純資産合計	2,301,393	2,351,690

### ポイント解説

#### Point 1 資産の部

流動資産の増加の主な理由は、現金及び預金42百万円、受取手形及び売掛金56百万円の増加によるものです。有形固定資産の減少の主な理由は、本社移転に伴う資産の取得により13百万円増加した一方、除却により14百万円、その他通常の減価償却により21百万円減少したことによるものです。無形固定資産の減少の主な理由は、のれんの償却55百万円によるものです。投資その他の資産の減少の主な理由は、敷金及び保証金の減少20百万円によるものです。

### ポイント解説

#### Point 2 負債の部

流動負債の増加の主な理由は、買掛金18百万円、未払費用20百万円、前受金25百万円の増加によるものです。固定負債の減少の主な理由は、長期借入金が71百万円減少した一方、長期前受金が16百万円増加したことによるものです。

#### Point 3 純資産の部

純資産増加の主な理由は、当期純利益42百万円の計上によるものです。

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第19期 (自 2009年7月 1日 至 2010年6月30日)	第20期 (自 2010年7月 1日 至 2011年6月30日)
売上高	3,911,394	3,320,847
売上原価	2,640,446	2,255,334
売上総利益	1,270,948	1,065,512
販売費及び一般管理費	1,376,617	944,504
営業利益(△損失)	△ 105,669	121,008
営業外収益	57,844	10,505
営業外費用	18,428	6,170
経常利益(△損失)	△ 66,252	125,344
特別利益	141,214	8,480
特別損失	54,418	70,011
税金等調整前当期純利益	20,542	63,812
法人税等	25,217	22,115
少数株主損益調整前当期純利益	-	41,697
少数株主損失	46,638	750
当期純利益	41,962	42,447

### ポイント解説

#### Point 連結損益計算書

収益性の改善を目的に第19期に実施した子会社4社の連結除外により、売上高は減少しましたが、各事業セグメントの売上が堅調に推移したこと、グループ全体で経費適正化を進めたことなどによって、営業利益は前年比で226百万円増となり大幅に改善しました。特別損失の主な内訳は、災害による損失28百万円、本社移転費用26百万円となっております。

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第19期 (自 2009年7月 1日 至 2010年6月30日)	第20期 (自 2010年7月 1日 至 2011年6月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	-	41,697
その他の包括利益	-	2,228
包括利益	-	43,925
(内訳)親会社株主に係る包括利益	-	44,676
少数株主に係る包括利益	-	△ 750

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第19期 (自 2009年7月 1日 至 2010年6月30日)	第20期 (自 2010年7月 1日 至 2011年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,809	113,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 190,331	△ 14,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 467,398	△ 58,360
現金及び現金同等物の増減額	△ 488,920	* 65,403
現金及び現金同等物の期首残高	1,500,686	1,011,766
現金及び現金同等物の期末残高	1,011,766	1,077,169

※連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増加額24,933千円を含んでおります。

### ポイント解説

#### Point 連結キャッシュ・フロー計算書

期末の現金及び現金同等物が増加した主な理由は、税金等調整前当期純利益63百万円、のれんの償却55百万円などにより、営業CFが113百万円増加となったことによるものです。その他、主に有形及び無形固定資産の取得42百万円により投資CFは14百万円減少、主に長期借入金の返済78百万円により財務CFは58百万円減少となっております。



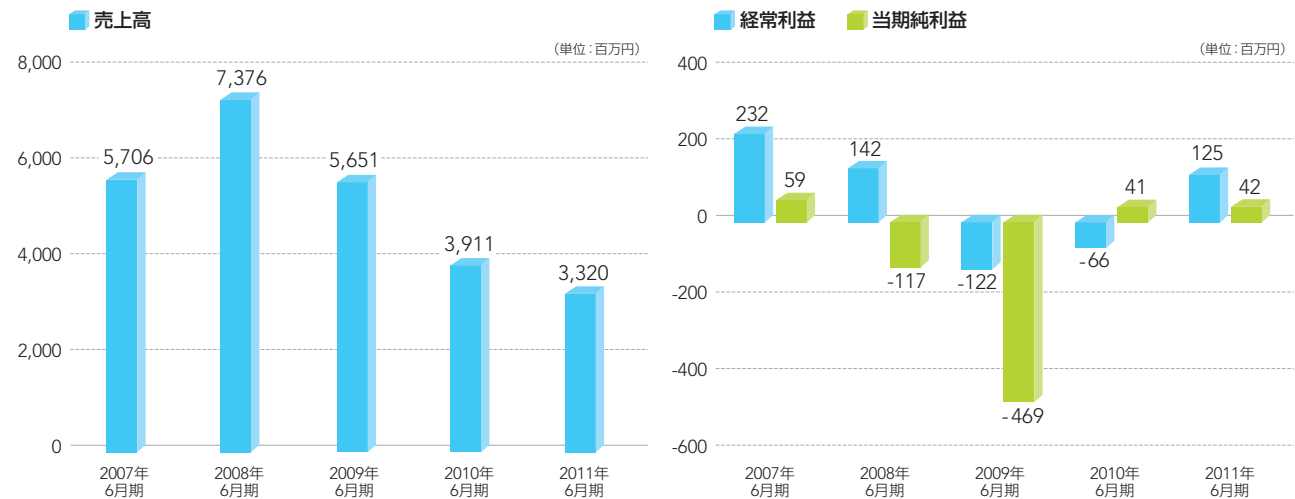
# 連結財務諸表

## ■ 連結株主資本等変動計算書 (自 2010年7月1日 至 2011年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の 包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2010年6月30日残高	693,250	1,176,282	△ 338,691	△ 53,911	1,476,929	220	93,994	1,571,144
連結会計年度中の変動額								
当期純利益			42,447		42,447			42,447
連結子会社の決算期変更に伴う利益剰余金の増加			851		851			851
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,228	△ 750	1,477
連結会計年度中の変動額合計	-	-	43,299	-	43,299	2,228	△ 750	44,777
2011年6月30日残高	693,250	1,176,282	△ 295,392	△ 53,911	1,520,228	2,449	93,244	1,615,921

## ■ 過去5年間の連結業績推移



# 20期 トピックス

## ■ 本社移転

2010年12月、アクモスは、都内に分散していたグループ3社 (ACMOSソーシングサービス、ジイズスタッフ、アクモス・アカウンティング) とともに、東京都千代田区神田小川町に事業所を移転しました。事務所費等間接経費の削減をはじめ、事務所間移動にかかる時間や経費の削減など業務効率の向上や、グループ連携体制の強化につながっています。なお、当移転により、特別損失として26百万円を計上しています。



## ■ 東日本大震災の影響と事業所移転

2011年3月に発生した東日本大震災では、アクモスの事業所がある茨城地区も大きな被害を受けました。茨城本部 (自社社屋 / 茨城県那珂郡東海村) では、建物一部損壊等により復旧工事を行っています。つくば事業所は、業務に使用する機器等の破損が多数発生したため、業務の安全性、災害発生時の業務継続性を考慮し、2011年6月末に事業所を移転しました。

その他、アクモスとエクスカルの震災後の休業中の人件費等も合わせて、災害による特別損失を28百万円計上しています。



## ■ 茨城県ひとり親家庭等在宅就労支援事業を受託

アクモスは、平成22年度の茨城県ひとり親家庭等在宅就労支援事業を受託しました。この事業は、ひとり親家庭の親御さんの仕事と家庭の両立のため、ITスキル訓練を実施することにより、在宅での就業を促進することを目的としたもので、茨城県内の訓練会場において、パソコンを使用した在宅作業に必要な技能訓練および習得したスキルを活用したOJT訓練を実施いたしました。

## ■ ジイズスタッフ 5期連続営業黒字達成

ジイズスタッフは、第16期の初連結以来5期連続で営業黒字となりました。アンケート集計分析、試験採点集計、データ入力、各種イベント事務支援等、情報処理サービス業を営んでおりますが、従来からの広告活動の展開効果もあり、製薬会社の案件や大学の授業評価アンケート、模擬試験や検定試験業務等比較的安定した業務を新規で受注できました。売上規模は小口案件でも、着実なリピート受注につながるよう営業活動を進めています。今後は、業務効率化と従業員定着により組織拡大を目指していきます。

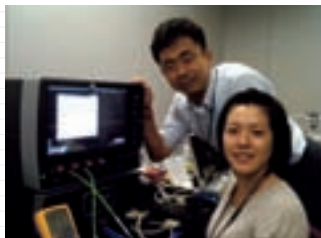


## XXCAL 次世代USB規格 USB3.0のデバッグテストサービスを開始

株式会社エクスカルは、米国インテル社ほか6社により設立されたUSBインプリメンターズ・フォーラムからテスト会社として認定され、2000年よりUSB規格認定試験サービスを提供しています。

2011年10月1日より、従来の通信速度の10倍(5Gbps)でデータ通信が可能となる次世代USB規格USB3.0に関するUSB3.0デバッグテストサービスを開始します。

2011年8月2日に発表を行ったとおり、レクロイ・ジャパン株式会社ならびに株式会社東陽テクニカと事業提携し、米国レクロイ社の機材を用いてUSB3.0規格認定試験に準拠した試験環境を整えています。



USB3.0製品開発に携わっているお客様は、製品開発の早期段階からこのサービスを利用することで、USB3.0規格認定試験への合格を視野に入れた製品開発を効率よく行うことが可能となります。

▶電気試験で使用するオシロスコープおよび信号発生器。SS治具と接続します。



◀伝送路の特性を考慮した専用のSS治具。ホストとデバイス間の信号を取り出し測定します。



### USB3.0 デバッグテストサービス 内容

#### 1. 電気試験

送信試験では、主にLFPS信号の評価、およびSuper Speed(SS)信号のアイパターンが規定のマスクに適合していること、受信試験では、信号発生器から規定のジッタおよび伝送路ストレスを付加した試験信号を評価します。

#### 2. リンク層試験

試験トラフィックを発生させるホスト・エミュレータを用い、リンク層テストシナリオに基づいた試験を行います。

#### 3. コマンドベリファイア(CV)試験

CVツールの最新版を実行することで、ディスクリプタの記述、状態遷移、エニュメレーション、および、USBバスの電流を評価します。

#### 4. 相互接続性試験

カスケード接続されたハブおよびリファレンスデバイスを含むゴールドツリー環境に試験対象機を接続し、サスペンドやハイバネートなどの動作確認を行います。

- 株式会社エクスカル
- 所在地：〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地  
横浜ビジネスパークイーストタワー14階
- URL：http://www.xxcal.co.jp/
- 本件およびUSB規格認定試験に関する連絡先：  
株式会社エクスカル 営業部 大谷 / 田村  
電話 045-332-7333 メール kksales@xxcal.co.jp

※株式会社エクスカルは、アクモス株式会社と米国NTS社(NASDAQ:NTSC)との合弁企業です。



ACMOSソーシングサービス株式会社 代表取締役 石川 稔

## 社員一人ひとりの力量アップを目指す



病院内システム管理に従事する社員のため、医療情報技師資格\*取得に向けた勉強会を実施しています。

今年度から開始したこの勉強会は、8名を対象に、2011年2月からほぼ週1回定時後に外部講師を招いて実施、2011年8月の試験後も2012年3月までフォローアップ教育を行うという1年間をかけたプログラムとなっています。

当初、社員に刺激を与え、気づきを起こしたいと思い何かできないかと考えていましたが、外部機関の協力もあり、最終的にこうした勉強会を開催できることになりました。業務と並行しての参加は大変ですが、出席率は高く、参加者の間でライバル心も芽

生えるなど、社員のいい刺激になっていると感じています。2012年以降も継続し、最終的には病院内システム管理に従事する全ての社員の資格取得、そしてさらなる上級資格へのチャレンジを目指していきます。

それとは別に、2011年7月から全社員を対象としたマネジメント研修も始めています。他社との差別化を図るためにも、各種研修や資格取得褒賞金制度等、社員一人ひとりの力量アップに向けた取り組みを続けていく方針です。

※医療や病院の運用に関して必要な知識を理解し、利用者の求めるシステムを提供するために有用な資格。2003年の第1回試験から2010年までに全国で9,382名(うち3名は当社社員)、上級資格になると178名しか取得しておらず、取得後も更新制度があるなど維持も大変となる。

アクモス株式会社

## 人財力の強化



第20期は、e-ラーニング研修、社外講師による集合研修を導入しました。管理職・新入社員に対して実施した社外講師による集合研修では、研修終了後に個人ごとの分析結果報告を受けることで、きめ細かいフォローができ、効果ある教育を実施できたと感じています。新入社員研修プログラムにおいては、厚生労働省による「実践型人材養成システム\*」の認定も取得しました。

第21期は、新たに設立した品質保証部においても業務力量向上への取り組みが進められ、教育と品質保証の両面から人財力の強化を図っていきます。

※将来的に中核となる人材の育成のため、企業が主体となり業務に即した学習(Off-JT)と現場における実習(OJT)を組み合わせるシステムです。





# アンケート結果報告

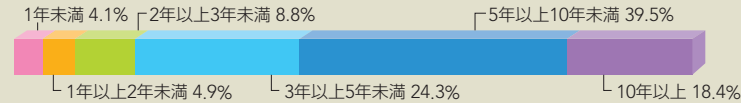
## アンケート御礼

2010年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主様アンケート」につきまして、数多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

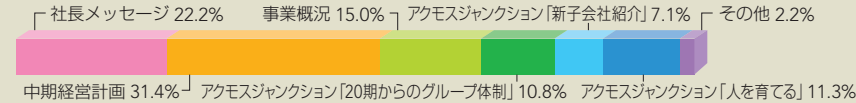
## アンケート実施概要

実施期間：2010年9月27日～2010年10月31日  
参加いただいた株主様：610名（全体の16.0% 男性437名・女性159名・記入なし14名）

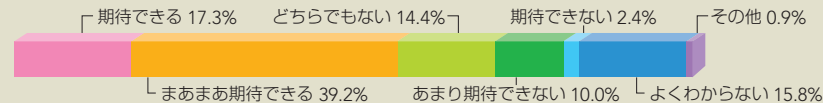
### Q1 当社の株式の保有期間はどのくらいですか？



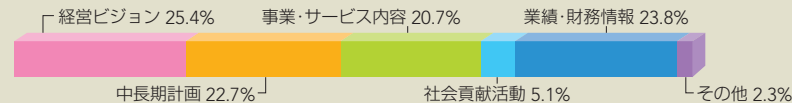
### Q2 前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください（複数回答可）



### Q3 前回の「アクモスハイウェイ」中期経営計画に対してどのようなご意見をお持ちになりましたか？



### Q4 当社に関して、もっと知りたい情報は何か？（複数回答可）



## 株主様からのご意見

- ・少しでも株価の値上がりが期待出来る施策を（60代 男性）
- ・収益性と将来性を兼備した戦略を取っていきましょう（40代 男性）
- ・成長して安定性を高めてもらいたい そして株主への配当に期待したい（50代 女性）

## ▶▶▶ アンケートへのご協力をお願い致します

当社では、株主のみなさまのご意見を伺い、みなさまとのコミュニケーション充実を図るため、今年も株主様アンケートを実施させていただきます。お忙しい中お手数をおかけして申し訳ありませんが、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

同封のアンケートハガキに必要事項を記入し、2011年10月31日（消印有効）までにご返送ください。アンケートにご協力いただき、お名前・ご住所等を記入いただいた方の中から抽選で300名様に謝礼品をお送りいたします。今回は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンの「寄付付きがんばろう日本ドリップバッグ&ゆば入りトマトカレーセット」を予定しております。コーヒーは東ティモール産のフェアトレード商品で、東北活動支援として商品1個につき100円が寄付されます。ゆば入りトマトカレーは東日本大震災で被災した宮城県のはらから福祉会で製造されたものです。この購入代金の一部は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンを通じて国際協力・災害支援活動などに活用されます。



# 会社概要 / 株式の状況

## ■ 会社の概況（平成23年6月30日現在）

商号 アクモス株式会社  
設立 平成3年8月23日  
資本金 6億9,325万円  
社員数 連結272名（単体218名）  
主な事業  
・ITソリューション  
IT基盤設計・構築  
SI・ソフト開発  
システム運用・保守  
・ITサービス  
情報処理  
検証・評価・認証

## ■ 役員及び執行役員の状況（平成23年9月27日現在）

代表取締役社長	飯島 秀 幸	常務執行役員	上 野 隆
代表取締役副社長	檜山 秀 夫	常務執行役員	石 川 稔
取締役相談役	宮本 治	執行役員	鈴木 伸 昌
取締役専務執行役員	佐藤 修 一	執行役員	深 作 耕 一
取締役（社外）	柴田 洋 一	執行役員	清 川 明 宏
取締役（社外）	倉井 康 則	執行役員	中 川 智 章
監査役（常勤）	荻原 啓 一	執行役員	米 川 渡
監査役（非常勤）	星野 隆 宏		
監査役（非常勤）	平野 喜久臣		
監査役（非常勤）	金子 登志雄		

※取締役及び監査役については、第20回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

## ■ 主な事業所（平成23年6月30日現在）

本社 〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8  
野村不動産神田小川町ビル  
TEL：03-5217-3121

茨城本部 〒319-1112  
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7  
TEL：029-270-5555

つくば事業所 〒300-0847  
茨城県土浦市御町一丁目1番1号 関鉄つくばビル2F  
TEL：029-834-3391

いわき事業所 〒970-8026  
福島県いわき市平字菱川町4番9号 菱川ビル4F  
TEL：0246-21-6585

## ■ 株式の状況（平成23年6月30日現在）

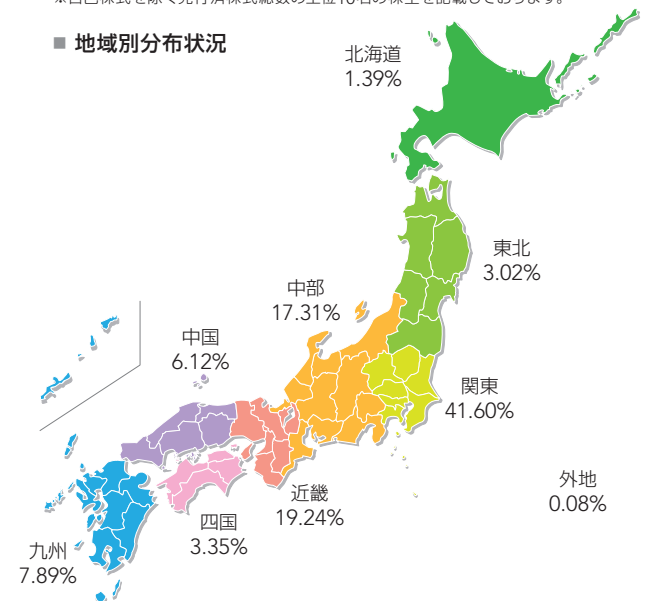
発行可能株式総数 323,000 株  
発行済株式総数 102,154 株  
議決権を有する株主数 3,673 名

### 上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	19,050
飯島秀幸	10,764
宮本治	5,235
アクモスグループ社員持株会	2,841
株式会社ベンチャー総研	2,000
新保幸男	1,250
廣瀬太己夫	1,103
有限会社マルミ	1,075
朽名健一	990
金子登志雄	960

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

## ■ 地域別分布状況





## ■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 <a href="http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html">http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html</a> (電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## ■ 株式事務関係のお問い合わせ

お問い合わせ先・ 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレフォンセンター 電話0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
--------------------	--

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種お手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種お手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレフォンセンターにお問い合わせください。



本社  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8  
野村不動産神田小川町ビル  
TEL : 03-5217-3121  
FAX : 03-5217-3122



JR東海駅より車で10分

茨城本部  
〒319-1112  
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7  
TEL : 029-270-5555  
FAX : 029-270-5531

アクモスハイウェイは  
環境に配慮して制作しています。



TNP-1108-0025



環境に配慮した用紙、インクを採用  
しています。

グリーン電力で印刷しています。



アクモス 株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル  
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 <http://www.acmos.co.jp/>

JASDAQ 証券コード : 6888

編集・発行 アクモス株式会社 経営情報管理部  
制作 宝印刷株式会社